

太尾地区

地域福祉保健計画

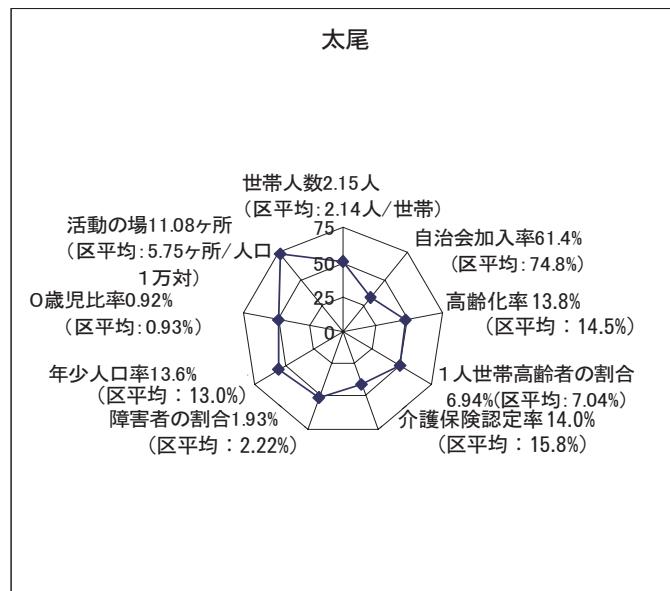
(計画期間：平成 18 年度～22 年度)

I 太尾地区の現状と課題

1 太尾地区の特徴

太尾地区は、太尾町、大豆戸町の一部をその範囲としています。総人口は23,476人、年少人口と老人人口がほぼ同程度です。太尾地区には18の自治会町内会があります。

太尾地区は平坦な地形で大倉山駅前は商店や医療機関も多く利便性が高くなっています。比較的古くからある地区ですが、近年マンション建設が進み人口が増加しています。子育て中の若い世代が多く、子育てサークルも多くなっています。



2 太尾地区の課題

① 交流

○子育てサークルに参加している保護

者、小学生の保護者などには交流の場がありますが、小学校入学前の子どもの保護者への支えが十分でなく、小さい子どもを持っている保護者が地域の活動に参加しにくいという状況があります。

○障がい児者をめぐっては、関わり方がわからないと感じている市民も多く、当事者や家族が回りから孤立する一因になっています。地域において、障害がある人とない人が接点を持ち、理解しあえるためのしくみづくりが期待されています。

② 情報・相談

○若い子育て世代では、家庭内におけるメディアからの情報に頼りがちではないかという指摘もあり、人を介して生活に役立つ地域の情報を知る場も必要と考えられています。

③ 場・拠点

○子育て世代では、雨の日も利用できる遊び場や子どもだけでのびのび遊べる公園についてのニーズが高く、子ども達の遊び場の確保とともに、世代間交流ともなるような子どもの見守り体制づくりが必要です。

④ ボランティア・担い手

○自治会町内会等の地域福祉活動の担い手が固定化・高齢化しているという状況があります。若い世代から高齢者まで誰でも参加しやすく魅力的な活動について検討していく必要があります。

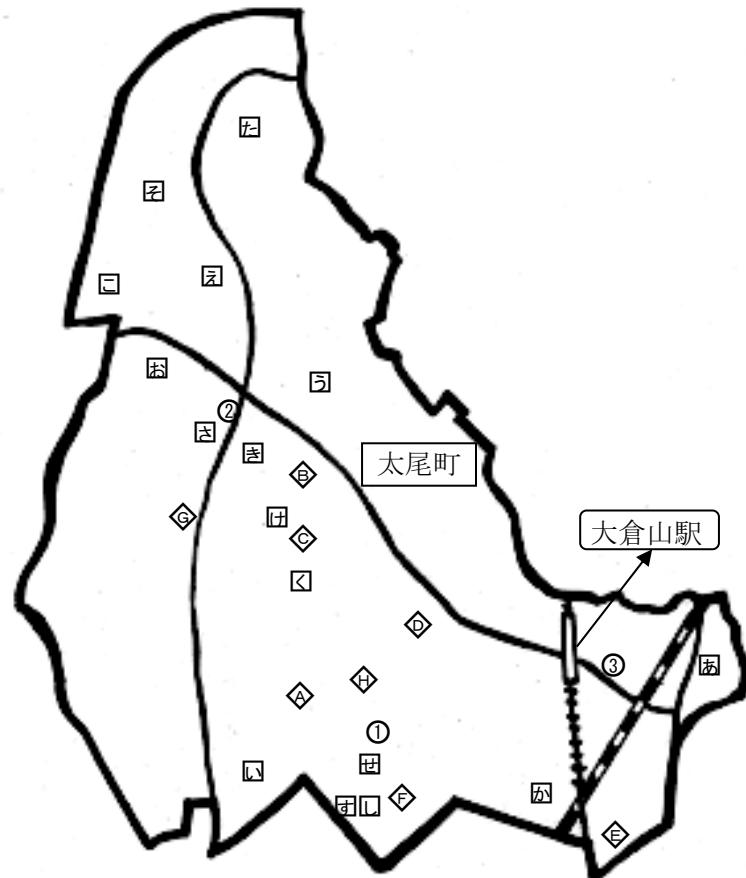
○ボランティア組織については、ボランティア組織が相互に連携して取り組むための交流拠点やネットワークづくりが求められています。ボランティアの運営に関しては、生活に密着したものや長期的で回数の多いものについて、無償ではなくある程度の受益者負担があった方が利用しやすいと考えられています。いつでも気軽に利用できる多目的な活動拠点の整備については、地域全体として強い希望があります。

⑤ 安心・安全

○お互いに助け合える関係を目指して、新旧住民の相互交流やマンション自治会の活性化が必要とされています。比較的関心の高い防犯パトロールや防災活動への参加をきっかけと

して、ボランティアなどの様々な地域福祉保健活動への参加へと導くような、地道で継続的な取り組みを進めていくことが課題となっています。

3 地域の拠点や福祉保健の取り組み状況



④

<保育園・小中学校>

No.	活動場所	活動の内容等・【活動団体名】
◇	市立太尾保育園	・園庭開放
◇	くっくおさんぽ保育園分園	
◇	保育室わおわお大倉山園	
◇	聖保育園	
◇	森の樹保育園	
◇	市立大綱小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放 ・運動会で高齢者席を設置 ・希望者を募り、週1回（土曜日 8時～10時）グランドにてグランドゴルフを練習 ・ミニバスケットボール

No.	活動場所	活動の内容等・【活動団体名】
◇	市立太尾小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放 ・高齢者と小学生の交流の場ふれあい会を実施 ・運動会で高齢者席を設置 ・ミニバスケットボール
◆	市立大綱中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放 ・運動会で高齢者席を設置

<自治会館・町内会館・集会所など>

No.	活動場所	活動の内容等・【活動団体名】
○	市之坪会館	
□	太尾会館 1F 南会館 2F 宮前会館 3F 中町会館 4F 連合会館	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ、町会役員に対する健康教育・研修会などを実施 ・給食会 ・各町会理事会・総会、文化カルチャー講座、研修会、各種集会
△	太尾神明町会館	
△	太尾下町会館	
○	西町会館	<ul style="list-style-type: none"> ・太尾町西町会花の会 ・老人クラブ（太尾町西町水曜会）
△	明和会館	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者との交流活動月1回 【民生委員及び女性有志の「花みずきの会」主催】
○	少年の家	
△	秀和大倉山レジデンス集会所	
○	ライオンズマンション大倉山自治会集会室	
○	コスモ大倉山自治会集会室	
○	太尾白樺会館	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ 【太尾町高砂会、太尾町第2高砂会、太尾町ことぶき会】 ・住民健診会場【区主催】
○	大倉山コーポラス集会所	
○	大倉山第2コーポラス集会所	
○	大倉山ハイム集会所	
○	コスモサンディックレジデンス集会所	
○	エクステ大倉山集会所	

<福祉施設・公共施設・ボランティアグループなどの活動場所>

No.	活動場所	活動の内容等・【活動団体名】
①	大綱中学校コミュニティハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・太尾赤ちゃん会：ねんねの会・はいはいの会を各月1回実施 【福祉保健センター主催】 ・住民健診会場 【福祉保健センター主催】 ・太尾っ子広場(サロン)を月1回実施 【太尾地区社協主催】 ・ひとり暮らし高齢者お茶とお話の会
②	障害者地域作業所ひかり作業所	<ul style="list-style-type: none"> ・心の病がある人が木工作業をしています
③	小規模通所授産施設アートかれん	<ul style="list-style-type: none"> ・身体・知的障がいのある人がアート活動をしています ギャラリーの貸出もしています
④	大豆戸地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・社交ダンス、歌などのボランティア活動 【ボランティア交流会 ふたばの会】 ・太尾地区地域支え合い連絡会 ・パパの育児教室 【区・地域ケアプラザ共催】 ・救急法講習 【地域ケアプラザ主催】 ・障害児者交流事業 【地域ケアプラザ主催】 ・ボランティア講座 【地域ケアプラザ主催】 ・世代間交流事業 【ボランティア・地域ケアプラザ供催】
⑤	港北区地域子育て支援拠点どろっぷ	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の居場所、情報提供、育児相談、育児支援者の育成、学生によるわくわくサポーター事業など 【運営法人：NPO 法人びーのびーの】 ・両親学級 【区主催】

その他の活動等

- ・小学生のサマーキャンプ、スポーツ大会、相撲大会、盆踊り、お祭り、健民祭、餅つき等の子どもと地域が交流する機会があります
- ・親子のサークル・子育てサークルとして「オカピクラブ」「タンタン」が活動しています
- ・高齢者と月1回交流会を開いている民生委員がいます
- ・担当している単身高齢者に季節のお便りを出すなどの関係づくりをしている民生委員がいます
- ・「太尾地区社協太尾ふれあいクラブ」では109人のボランティア登録があり、介護保険ではカバーできない部分について、受益者負担で生活支援サービスを開始しています

II 太尾地区の行動計画

1 太尾地区のスローガン

- (ア) 住民一人ひとりがつながり、協力しあえるまち 太尾
- (イ) 子どものころからちょボラあふれるまち 太尾 (※ ちょボラ：ちょっとしたボランティア)
- (ウ) 住民同士があいさつをし合うことから心を太っちょにしていこう
- (エ) 普段から世代を越えてふれあい、いざという時にも強い太尾をつくっていこう
- (オ) 行政に頼るだけでなく、住民みんなが積極的に地域活動に参加していけるようにしよう

2 行動計画（具体的な取り組み）

(1) 一人ひとりの市民自らの取り組み

- あいさつ（おはよう、こんにちは）をし合える関係づくりを進めていきます。
- 自分から積極的に参加し、知ろうとすることを大切にします。
- 無理のない範囲で声をかけ合い、今まで声をかけなかった人にも広げていきます。
- 紙芝居やお手玉づくりなど、既にやっていることについて、チラシを配るなど宣伝をします。
- 太尾小学校のスクールボランティアで地域と小学校のつながりを強めています。
- 地域高齢者援護の担い手として活動をしていきます。
- 障がいを持つ方に対して、自分ができることをできる範囲で手伝っていきます。
- 自分自身が一緒に活動に参加したり、研修・勉強会に参加していきます。
- 生活道路の整備のためにボランティアで調査をしていきます。
- 防災・防犯を通じた地域のつながりを福祉保健活動につなげていきます。

太尾地区地域懇談会の様子



太尾地区地域懇談会
第1回 平成17年7月24日(日)
第2回 平成17年8月28日(日)

時間 午後2時～4時
場所 港北区役所 4階1号会議室

(2) 地域での取り組みとそれを支える取り組み

① 交流

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
新しいカタチの世代間交流を企画していくために	<地域・みんなの取り組み>					
	○まちの広報を出せるよう検討していきます。	●				▶
	○高齢者に「はまっ子」へ参加してもらえると世代間交流ができるので検討していきます。	●				▶
	○子どもたちも集まりやすいコミュニティハウスを活用して世代間の交流を図ります。	検討				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○保育園と民生委員が話し合って、子どもと高齢者との交流の場をつくる働きかけをしていきます。	検討				▶
	○保育園・小学校・中学校と協働して、園児・学生が地域と交流することを目指します。 (例えば赤ちゃんと生徒、高齢者と生徒など)。	検討				▶
子育て家庭と地域が交流するするために	<地域・みんなの取り組み>					
	○父親の子育て参加をすすめ、キャンプやダイナミックな遊びを実践していきます。	検討				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
高齢者が地域活動に参加するるために	○パパの育児教室（パパさん会）の支援を継続します（大豆戸地域ケアプラザ）	●				▶
	<地域・みんなの取り組み>					
	○「一緒に行かない？」と誘い合って、参加者が増えるようにしていきます。	●				▶
	○子どもの遊び場を安全にするため、公園で声をかけ合う自主的な草むしりの仲間を広げていきます。	●				▶
	○一人がやっていることに便乗して、新しい活動を広げていくことを検討していきます。	検討				▶
	○NPO 法人からノウハウを教えてもらうなど他の団体と連携を検討していきます。	検討				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
障がいを持つ方と地域住民が交流するため	○男性ボランティアに協力してもらい、送迎を必要とする高齢者の外出のサポートをすすめます。	検討				▶
	○介護予防教室を開催します。（大豆戸地域ケアプラザ）	●				▶
	<地域・みんなの取り組み>					
ボランティア活動の連携・交流を推進するため	○障がいを持つ方の拠点づくりを通して、家庭の負担軽減、子どもたちの育成、交流のしやすさを確保していきます。		●			▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○障害者の交流事業を行います（大豆戸地域ケアプラザ）					
地域活動参加へのきっかけをつくるために	○グループホーム、地域活動拠点の整備について支援します。（区サービス課）	●				▶
	<地域・みんなの取り組み>					
	○掲示板を活用して、宣伝活動を行っていきます。	●				▶
	○ボランティア連絡会を作って、自治会町内会ごとに月1回情報交換をしていくことを目指します。		●			▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○外出できない人を介助していくサービスの育成・支援を行います。	●				▶

② 情報・相談

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
情報の共有・発信のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○「ちょボラ求む」(ちょっとしたボランティアの略)のサインを考え、コミュニケーション手段として利用が広がるよう検討していきます。	検討				→
情報発信の方 法を検討する ために	<市民を支える取り組み(事業者・団体、行政)>					
	○社会福祉協議会からの情報提示を、もっと入手しやすい場所、方法に変えていきます(駅構内など、皆の目につきやすい場所に情報発信の掲示コーナーを設けるなど)。	●				→
情報発信の方 法を検討する ために	<地域・みんなの取り組み>					
	○災害時に万が一助けが必要な人(高齢者、障害を持つ方など)を支援できるよう、情報発信方法を検討していきます。	●				→

③ 場・拠点

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
子どもがのびのびと遊べる場・機会を提供するために	<地域・みんなの取り組み>	●				→
	○安心して子供たちが遊ぶことができるよう、公園の見守りボランティアの活動をすすめていきます。	●				→
	○太尾っ子広場で子育て中のお母さんやお子さんの手助けをしていきます。	●				→
	○青少年指導員は、太尾小学校でタコづくりを教えているなどの活動を広げていきます。	検討				→
	○大豆戸地域ケアプラザで実施している父親参加の子育て支援企画の太尾町版を検討します。	検討				→
地域活動拠点を整備するため	<市民を支える取り組み(事業者・団体、行政)>	検討				→
	○父親参加企画の太尾町版について、必要に応じて支援や協力をしていきます。(大豆戸地域ケアプラザ)	検討				→
	<地域・みんなの取り組み>	検討				→
	○地域の活動拠点として太尾センターの建設を要求していきます。		●			→
	○若い人と高齢者が自由に意見を言えるような場所を作ります。		●			→
	<市民を支える取り組み(事業者・団体、行政)>		●			→
	○小・中学校各町内会単位でボランティアの相談窓口を作っています。					
	○障がいを持つ方も含めた地域の誰もが気軽に立ち寄れる場を整え交流や情報の発信を行っていきます。(大豆戸地域ケアプラザ・世代間交流事業)	←				→

④ ボランティア・担い手

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
子育て支援の充実のために	<p><地域・みんなの取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校・中学校の先生の地域行事への参加をお願いしていきます。 				検討	→
	<p><地域・みんなの取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○資金集めのためにバザーを行います。 ○ボランティアも内容によっては有償として、受け方も気兼ねなくお願いできるようにします。 ○ボランティアを受ける方も、担い手としての研修を受けていきます。 ○若い人の声を聞き、興味を持ってもらえる企画・イベントに取り組んでいきます。 ○若い人も参加できる日時・場所を考え、会合を行っていきたいと考えています。 ○男性にも声をかけていきます。 ○太尾ボランティア（ふれあいクラブ）から、担い手を把握していきます。 	●	●	●	●	→
地域の担い手の確保のために	<p><市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア講座を開催します。（大豆戸地域ケアプラザ）地域ケアプラザでボランティアを体験や学習してから地域でも活動できるようにきっかけづくりをします。 ○ボランティアの発掘に努めます。（区社会福祉協議会） 		●			→

⑤ 安心・安全

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
	<p><地域・みんなの取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時に万が一助けが必要な人（高齢者、障害を持つ方など）の名簿保管を民生委員が行っている地域があります。 					
緊急時に対応するため	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の安心、安全に関心のある方への参加を多くするためアンケート調査などを通じて呼びかけて活動の輪を広げます。 	●				→
	<p><市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○食糧確保のため、民間の業者に事前の協力を得られるよう検討していきます。 		●			→

⑥ 健康づくり

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
	<p><地域・みんなの取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病についての勉強会、ストレッチなどの場を多く持ち、集まった人の中から元気な力を生かします。 					
地域の健康づくりのために	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が介護を必要とする状態に少しでもならないよう、予防を考えたストレッチ、体操教室の場をつくります。 		検討			→
	<p><市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防教室の開催（大豆戸地域ケアプラザ） 					→